

GM 鶴牧-3 環の会

第 79 回クラシックを楽しむ会

2023 年 9 月 10 日(日)18:00～(1 時間 52 分)

タイトル : バレエ「夏の夜の夢」(メンデルスゾーン)

会場等 : パリ・オペラ座 バスティューユ(フランス)
2017 年 3 月 18、23 日

楽団等 : パリ・オペラ座管弦楽団

合唱 : パリ・オペラ座合唱団

独唱 : プランヴェラ・レナート、
アンネ・ゾフィー・デュクレ

指揮 : サイモン・ヒューイト

振付 : ジョージ・バランシン

衣装・舞台 : クリスチャン・ラクロワ

出演 : 妖精の女王ティターニア:

エレオノーラ・アバニャート*

妖精の王オベロン: ユーゴ・マルシャン*

ハーミア: レティシア・プジョル*

ライサンダー: アレッシオ・カルボーネ

ヘレナ: ファニー・ゴース

ディミトリアス: オードリック・バザール

アマゾンの女王ヒッポリータ: アリス・ルナヴァン*

アテネ公爵シーシアス: フロリアン・マニュネ

妖精パック: エマニュエル・ティボー*

織工ボトム: フランチェスコ・ヴァンタッジオ

ディヴェルティスマン: パク・セウン、カール・パケット*

パリ・オペラ座バレエ団、パリ・オペラ座学校の生徒

*印はパリ・オペラ座最高位のエトワール 6 名。2021 年にパク・セウンもエトワールに昇格。



第 1 幕 妖精の棲む森の情景

この作品について

ウィリアム・シェークスピアの同名の喜劇をもとにジョージ・バランシンが 1962 年ニューヨーク・シティバレエ団のために振り付けた作品。6 人ものエトワールを贅沢に配た豪華キャストとパリ・オペラ座バレエ団のダンサーたちが、フランスを代表するデザイナーのクリスチャン・ラクロワによる豪華な衣装と美術で彩られたステージで華やかに舞う。

物語の展開は第 1 幕でほぼ終了し、第 2 幕は 3 組の結婚式が多彩に踊られるディヴェルティスマン(余興)で構成されている。

音楽はフェリックス・メンデルスゾーンの「夏の夜の夢」の演奏会用序曲と劇付随音楽。

第 80 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル: 歌劇「エルナーニ」(ヴェルディ)

10 月 22 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

フィレンツェ五月音楽祭劇場(イタリア) 公演。「ナブッコ」に続くヴェルディ初期の名作。フランチェスコ・メーリ、マリア・ホセ・シーリ、ロベルト・フロンターリ、ヴィタリー・コワリョフと、この作品にふさわしい豪華キャスト! 指揮はジェームズ・コンロン。

あらすじ

【時と場所】

はるか昔のアテネとその近郊の森の中。

【登場人物】

アテネの貴族、宮廷人 - 法と父権・男性論理が支配する人間界

ハーミア(イジーアスの娘)とライサンダー(イジーアスに嫌われている)は**相思相愛**

ヘレナ(ハーミアの友人)とディミトリアス(イジーアスが決めたハーミアの許嫁)に**片思い**

ヒッポリータ(アマゾン国の女王)とシーシアス(アテネの公爵)は**婚礼の儀式**を控えている

イジーアス(ハーミアの父)は娘ハーミアが許嫁ディミトリアスと結婚しないなら娘を死刑にして!?

アテネの職人 - 道化役の民衆 6 人、侯爵の結婚式で劇を披露するため、妖精の棲む森で練習

わがままな機織り職人ニック・ボトムはロバに変身させられて妖精界に入り込む

他の 5 人は、大工、オルガンのふいご修理屋、仕立て屋、鋳掛屋、指物師

森の妖精

パック(オベロンに仕える忠実な妖精。いたずら好きで登場人物たちを混乱させ、人間界に介入)

ティターニア(妖精の女王)と オベロン(妖精の王、パックに指示して人間界に介入)は 夫婦喧嘩

【第 1 幕】

アテネの公爵シーシアスと、アマゾン国の女王 ヒッポリータの結婚式が間近に迫っている。結婚式の余興のため 6 人の職人が森に集まることに。恋仲のハーミアとライサンダー、ハーミアの父が結婚に反対し、ハーミアをディミトリアスと結婚させようとする。ハーミアとライサンダーは駆け落ちして森で会うことにし、ハーミアは親友ヘレナに打ち明ける。ライサンダーを想うヘレナとヘレナを想うディミトリアスは、それぞれ二人の後を追う。かくして、人間である貴族の二組の恋人たちと 6 人の職人が、夏至の夜に妖精の集う森へ出かけていくことになる。

森では妖精の王オベロンと妖精の女王ティターニアが「取り替え子」を巡って喧嘩の真っ最中。機嫌を損ねたオベロンは妖精パックを使い、ティターニアのまぶたに媚薬をぬらせる。こうして恋に盲目となった人間たちと、そそっかしい妖精たちが大混乱を巻き起こす。

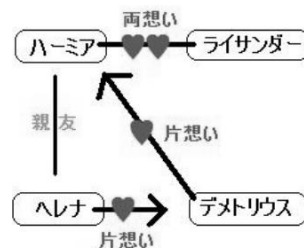
【第 2 幕】

登場人物たちは、アテネに戻り、シーシアスとヒッポリータの結婚式に招待される。ハーミアとライサンダー、ヘレナとディミトリアス、そしてオベロンとティターニアの問題はそれぞれ解決し、3 組の結婚式が執り行われて円満な結末を迎える。(恋人たちよ、さあ、ベッドへ。もう妖精の時間だ。)

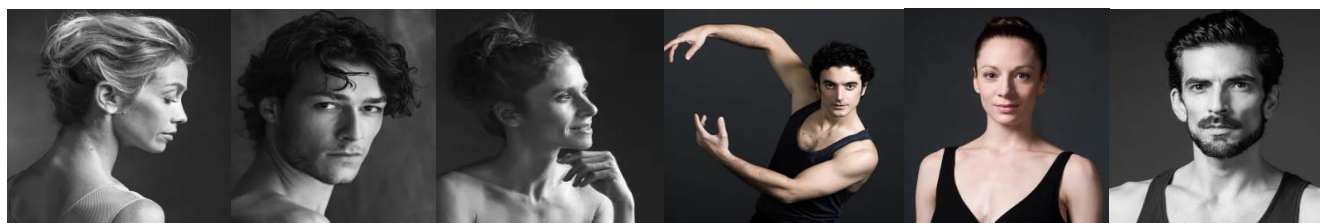
演奏会用序曲「夏の夜の夢」 - 妖精たちや動物(獣人)の住む幻想的な世界を描写

劇付随音楽「夏の夜の夢」

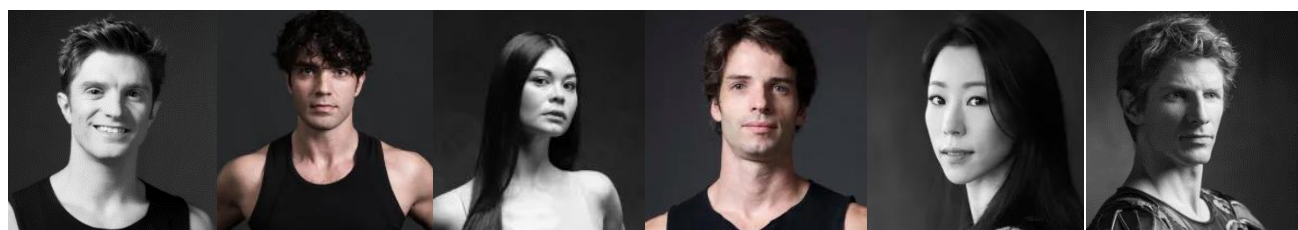
- スケルツォ - 物語の始まりを予感させる、空飛ぶ妖精パックのテーマとも言える 1 曲
- 情景(メロドラマ)と妖精たちの行進「丘を越え谷を越え」
- 歌と合唱「舌先裂けたお蛇さん」 - ティターニアが眠りにつくときに、妖精たちが歌う子守唄
- 情景(メロドラマ) - 「魔法をかける」
- 間奏曲 - ハーミアがライサンダーを求めながらも会えぬさみしさ
- 情景(メロドラマ) - 「ぶざまな田舎者どもが」
- 夜想曲 - 4 人の若者たちが森の中で眠る場面の描写
- 情景(メロドラマ) - 「魔法が解ける」
- 結婚行進曲 - 明るくて開放的な幸福を象徴するような 1 曲
- 情景(メロドラマ)と葬送行進曲 - 死者を弔う、暗くて悲しい曲
- 道化者たちの踊り(ベルガマスク舞曲) - 序曲のメロディを使った道化師たちが楽しく舞う
- 情景(メロドラマ)とフィナーレ - ファンタジー、メルヘン、恋物語の終幕を飾る華やかで楽しい 1 曲



ダンサー



ティターニア オベロン ハーミア ライサンダー ヘレナ デイミアス
 エレオノーラ・アパニャート* ユーゴ・マルシヤン* レティシア・ブジョル* アレッシオ・カルポーネ ファニー・ゴース オードリック・ペザール



妖精パク 機織り職人ボトム アマゾン女王ヒッポリータ アテネ侯爵シーシアス ディベルティスマン(余興)
 エマニュエル・ティボー* F・ヴァンタジオ アリス・ルナヴァン* フロリアン・マニユメ パク・セウン カール・パケット*

*印はパリ・オペラ座最高位エトワール 6 名。パク・セウンは 2021 年エトワール昇格

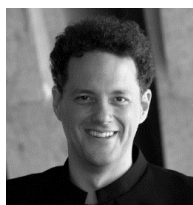
パリ・オペラ座合唱団ソリスト



ブランヴェラ・レナート(ソプラノ)



アンネ・ゾフィー・デュクレ(ソプラノ)



サイモン・ヒューイトはオーストラリア生まれの指揮者。ハンブルク・バレエ団の首席指揮者で、2011 年から 2016 年までシュトゥットガルトオペラの首席指揮者を兼務。最近ではパリオペラ座バレエ団、ロイヤルバレエコヴェントガーデン、ウィーン国立歌劇場バレエ団、ベルリン国立バレエ団に客演指揮者として出演。



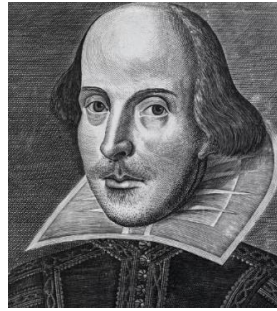
ジョージ・バランシン(1904 - 1983)は、ロシア出身のバレエダンサー・振付家。ニューヨーク・シティ・バレエ団を設立。19 世紀に確立されたクラシック・バレエから物語性を排して、純粋な身体の動きを追求した作品を生み出し、20 世紀のバレエに多大な影響を与えた。



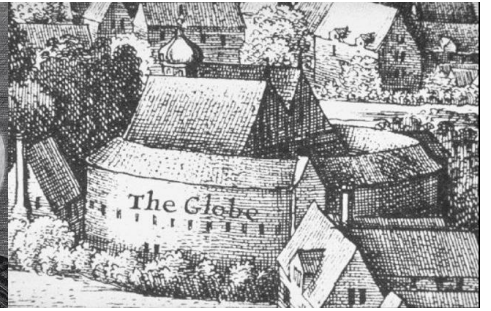
クリスチャン・ラクロワ(1951 -)フランス生まれのファッションデザイナー。美術史を学んだ後ソルボンヌ大学で 17 世紀のコスチュームを研究。デザインに目覚めて華やかでバロック風の華やかなドレスを発表し、80 年代を代表するデザイナーとなった。「クリスチャン・ラクロワ」ブランドを立ち上げ、現在も様々な分野で活躍している。

原作者

ウィリアム・シェイクスピア(1564 - 1616)は、イングランドの劇作家、詩人。卓越した人間観察眼からなる内面の心理描写により、もっとも優れた英文学の作家である。イギリス・ルネサンス演劇(エリザベス朝演劇とも)を代表する劇作家である。ロンドン進出当初は俳優で、次第に脚本を手掛けるようになり座付劇作家になった。さらに宮内大臣一座の共同所有者になり、同劇団の本拠地**グローブ座**の共同株主にもなった。



シェイクスピア



2代目グローブ座(初代は火災で焼失)

四大悲劇「ハムレット」「マクベス」「オセロ」「リア王」をはじめ、「ロミオとジュリエット」「ヴェニスの商人」「夏の夜の夢」「ジュリアス・シーザー」など多くの傑作を残した。

戯曲「夏の夜の夢」

「夏の夜の夢」または「真夏の夜の夢」は、ウィリアム・シェイクスピア作の**喜劇**。本作が書かれた時期は1594年から1596年の間頃だと考えられている。当時は「ロミオとジュリエット」を完成させ「ヴェニスの商人」を構想中だった頃である。



ジョゼフ・ノエル・ペイトン画「オベロンとティターニアの争い」(1849)



ヨハン・ハインリヒ・フュースリーの版画「ティターニアとボトム」(1796)